

5歳児

子どもと暮らす



生活

- 朝起きてから夜寝るまで、生活に必要なことがほとんど一人でできるようになります。自分なりに次を見通して、行動できるようになってきますが、その時の気分ですることが雑になることもあります。できるようになったからとはいえ、任せっきりにせず、大人が確認することも必要です。
- 行動範囲が広がり、1人で行動することが予測されます。「見知らぬ人の誘いにのらない」「交通ルールを守る」など、危険から回避する方法をしっかりと教えておくことも大切です。



あそび運動

- 全身運動が滑らかで巧みになり、これまでの経験から予想や見通しを立てる力が育ち、自信をもって活動ができるようになります。運動機能の高まりは子どもの自主性や自立性を育てていきます。
- 友達との遊びの中で、ルールの理解や遊びに集中しつづけることができるようになります。いろいろな知識や経験を生かし、工夫して遊びを発展させていきます。また、考える力や認識力も高まり、文字への興味や関心が深まってきます。
- 身近な事象（空間・時間・数・量・形・科学など）に興味や関心を持ち、知的探究心が高まってきます。



社会性

- 大人よりも友達と遊ぶことが楽しくなり、子どもの世界が広がっていきます。友達との遊びでは、それぞれが役割を持ち、遊びを展開できるようになってきます。その中で、時には主張のぶつかり合いやケンカが起こりますが、自分たちで解決しようとする姿が見られます。まずは、子ども同士に任せ見守っていきましょう。
- 相手の気持ちを認め、友達と協調してやり遂げる楽しさがわかってきます。仲間の一員としての自信と友達への親しみや信頼感を高めていきます。
- いろいろな要求をしてきますが、まだまだ判断力としては未熟な面を持っています。子どもが自分で決められることと、大人が決めることをはっきりと分けて教えていきましょう。
- 思いやりの気持ちが芽生え、自分より小さい子の面倒をみたり、かばったりする姿が見られるようになってきます。
- 言葉の理解が深まり、人の話を注意して聞いたり、相手にもわかるように話したりするようになります。

